

地方会議（埼玉県さいたま市）

1. 日時、場所

平成24年5月19日（土） 13:30～15:30
さいたま新都心合同庁舎1号館 1階多目的小ホール

2. 参加者

地元の若手・女性 of 中小企業経営者等 100名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	51
資金調達	0
経営指導・経営支援	8
技術力・人材（技能承継等）	8
取引関係（下請取引・流通構造等）	1
販路開拓（海外展開等）	3
若手・青年層の活力発揮	4
女性層の活力発揮	8
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	6
その他	13

（2）主な意見

【経営指導・経営支援】

- ・ 会社の存続と雇用の維持を真剣に考えている多くの中小企業経営者にとって、現行の相続税の負担は厳しい。
- ・ 中小企業には様々な部分でサポートが必要。様々な専門家によるサポートのネットワークの構築が必要。
- ・

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・ 円高は大きな痛手であり、自分たちの努力だけでは限界。それでも諸外国に、負けない技術力で勝つしかない。
- ・ 従業員は宝であり、一生懸命人材育成したいが、残業時間の制限や教育時間分も全て給与を支払う等、労基法上の制約が厳しすぎる。ちいさな企業が人を雇い、育てられる制度の確立を望む。

【販路開拓（海外展開等）】

- ・ ものづくりの中小企業が海外で勝負するためにも、日本のものづくりに対する政府の姿勢をしっかりと世界へアピールしてほしい。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・ 若者は仕事に対して、「タイムカードを押して、格好良く座っていたい」といった考え方を持っている。中小企業で働くことの意識改革を学校教育で行うことが必要。
- ・ 若者の新規雇用を促進するため、1年間の試用による適正の見極めができる「みなし雇用」のような制度を望む。

【女性層の活力発揮】

- ・ 女性はロールモデルが好きで、「あの人のようになりたい」と思うと頑張れる。仕事で活躍する女性をPRする施策があると良い。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・ 商店街の活性化には、自治体や中学・高校・大学、大型店など、商店街以外の者との連携が重要。

【その他】

- ・ 小規模企業にとって、社会保険負担は大変に重い。